

キャラクター名  
寒咲 朱音(かんだき あかね)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	探偵
	ノイマン					
オプション			年齢	24	性別	女
覚醒	探求	衝動	自傷	初期侵食率	47	%
出自	犯罪者の子	経験	死と再生	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	0	0			1	行動値	14
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	14
精神	5	1	0			6	戦闘移動	19
社会	1	0	0			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
申し子	P	N		
両親	P 好奇心	N 猜疑心		
医師	P 信頼	N 猜疑心		
灰田	P 味覚的同士	N 脅威		
ハーミーズ	P 親近感	N 隔意		
リオ	P 連帯感	N 劣等感		
ラーメンの使徒	P 信頼	N 偏愛		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ウロボロス	1	2	Me	-	-	-	-	
効果: C値-Lv 下限7								
原赤:インスタントボム	5	4	Me	至近	-	対決	-	
効果: 攻撃+Lv×2白兵 装甲無視								
原白:ストライクモード	3	8	Me	-	単体	対決	80	
効果: ダメージ+LvD								
原黒:オーバードーズ	2	6	Me	-	-	-	100	
効果: 組み合わせたエフェクトLv+2								
原虚:ギガノトランス	1	20	Me	視界	シーン(選択)	対決	120	
効果: シーン(選択) 射程: 視界に変更								
コントロールソート	1	2	Me	武器	-	対決	-	
効果: 《白兵》 精神で判定を行える								
リミットブレイク	2	4	Me	-	-	-	Dロイス	
効果: 制限: n%未満でも組み合わせ可能								
確定予測	2	4	Me	-	-	-	-	
効果: 組み合わせたリアクションC値+2								
戦神の祝福	3	20	Me	武器	-	対決	120	
効果: 攻撃+ [Lv+4D]								
原灰:蝕命の魔眼	1	2	Me/R	-	-	-	自傷120	
効果: 侵蝕上昇0 0にした分のHP欠損								
ラストアクション	1	5	オート	至近	自身	自動	100	
効果: 戦闘不能時メインプロセスを行う								
悪食の蛇	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: シーン〇回制限を1回復								
灰色の脳細胞	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 行動値+精神								

指暴力団No.4869。  
とある滝に落ちて記憶喪失になる。自分の記憶を取り戻そうとし、答えの出ない問いに悩まされオーヴァードに覚醒する。しかしオーヴァードになっなお、寒咲の素性は分かっている。  
UGNエージェントであり指暴力団と呼ばれる集団に所属しているが、傍ら私立探偵も営んでいる。しかし事務所構えている一般のイメージとは異なり、すべての依頼をネット上で受け、メッセージのやり取りだけですべてを解決する。一部地方では都市伝説のように語られているらしい。秘密裏に表の大企業なども利用しており、金だけは腐るほどある。本人が普段外に出ないため、専ら貯金に充てられているが、非常に寒がりですぐに厚着をしている。コートにマフラーを着用しており、夏は熱中症で倒れる。

元々犯罪者側で戸籍が無く常に自分を殺す方法を探していたことにする…  
自分のような犯罪者が出てきたときそれを止められるのは自分並みの能力がないとだめだと感じ、記憶だけを殺し能力はそのままに肉体だけを生かす代償に温度感覚が消失し、罪を犯すことに関する忌避感を植え付けられているという過去を前に書いたので、これをネコミミ侵蝕する

元々犯罪者(ラーメンの使徒)で常に自分を止める方法を探していた  
これ以上ラーメンの使徒を増やすわけにはいかない。そしてラーメンの使徒を止めることが出来るのは同じラーメンの使徒たる自分しかない。ラーメンの使徒たる記憶を封じ、肉体と能力を継承した新しい自分を生み出す為に滝に落ちた。多分ラーメンの滝的なのか代償に目的だったラーメンの使徒に関する一切を思い出せなくなる。さらには体温感覚もなくなってしまい、ラーメンの温かさを感じられなくなった寒咲は絶望し過去の幸せだった記憶すらも失ってしまった  
ということにしよう

